

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

WebCT活用授業レポート

インストラクショナルデザインに基づいた コンテンツの開発と活用



今回は、理工学部情報科学科の荒井正之先生にお話をうかがいます。荒井先生は、WebCT導入当初から活用されている方のお一人です。

LT どのようにお使いになっているのでしょうか。

荒井先生 担当するすべての科目で使っていますが、大きく分けると2つの活用パターンがあります。一つはシラバスや講義ノートなどを公開しているパターンです。以前はプリントとして配っていた資料や授業で提示したスライドなど、手元にあるものを載せていますので、プリントを作ったり配ったりする手間が省けています。

もう一つは、毎回の授業内容をコンテンツ化し、小テストなどを配置してセルフラーニングできるような形で運用しているパターンです。いずれの場合でも予習ができるようにコンテンツは事前に公開しています。スライドを前もって印刷してきて授業中に余白に書き込むなど上手に活用しているが学生も見受けられます。また、授業のあとから見ることができるという点がとてもよいと思っています。

例えば「情報構造とアルゴリズム」という科目では主に概念についての講義をしています。実際にプログラムを動かしてみると良くわかるようになっています。そのソースリストをWebCTに載せているので、学生たちは授業の後にそれを参照して動か

してみても、ああなるほどとやっているわけです。

LT お使いになっていかがですか。

荒井先生 副次的な効果といえるかもしれませんが、授業設計をきちんとするようになりました。よく考えて設計するためか学生も理解できるようになっているようで、そのごたえを感じています。しかし一方では、設計の段階でいろいろ内容を盛りこみすぎるといった傾向が出てしまいがちです。これについては、今後見直しが必要と感じています。

これまで、半期に一科目ずつ「プログラミング1～4」のコンテンツを開発してきました。eラーニングハンドブックを参考に、インストラクショナルデザインの手法に沿ってやってみましたが、しっかりとした授業設計をするには、それなりの時間も必要です。そのほかの科目については、これから徐々に開発し、移行していきたいと考えています。

LT 荒井先生の授業コンテンツは学生の評判がよいと聞いております。しっかりとした授業設計がなされていることと、各週の授業コンテンツとして提供される教材の質や量が一定であることにより、学生も安心して学習を進めることができることと思います。どうもありがとうございました。

お知らせ

◆ 10月のLTセミナー

「授業のための機材活用術 Part3」

- ・日時：10月22日(月) 16:40～ 18:10
- ・会場：帝京大学宇都宮キャンパス
本部棟2号館 101教室

学生証を使って出席情報を記録するシステム、数式作成・提示ツール、9月のアップデートにより新たに利用可能になったWebCTのツール、講義録画システム等について紹介します。

◆ FD・LT合同セミナー

「授業改善セミナー」

- ・日時：11月7日(水) 13:20～ 15:00
理工学部は土曜日の時間割の日です
- ・会場：帝京大学宇都宮キャンパス
本部棟2号館 101教室

授業改善セミナーは、本学教職員の間で授業改善に関する様々な情報を共有することで、本学の教育力の向上に資することを目的としています。申込みのあった教職員からの発表(3件程度)を予定しています。理工学部FD委員会とLT開発室の共催です。

セミナーの詳細についてはLT開発室ウェブサイトをご覧ください。

◆ 第4回WebCT研究会

2007年11月16日(金)～17日(土)に阿蘇プラザホテルで開催されます。

今、注目されているeポートフォリオに関する招待講演が2件予定されています。また、本学からも、古川文人助教、及川芳恵技術職員が講演を行います。ご都合のつく方はぜひご参加ください。

詳細はWebCTユーザ会ウェブサイト(<http://www.webct.jp/>)をご覧ください。

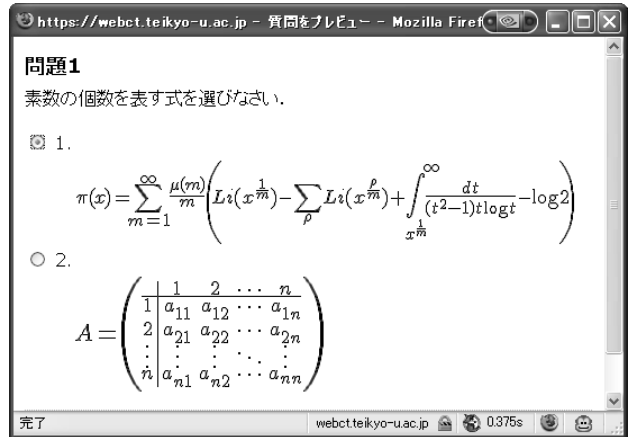
Tips ~LaTeX記述でWeb上に数式を提示する~

LT開発室では、Web上への数式提示ツール mimeTeX (「まいむてふ」と呼びます) を使えるサイトを公開しています。mimeTeXでは、組版処理システムLaTeXとほぼ同じ数式表記法を用いて、Web上に数式を提示します。例えば、LaTeX表記での以下の数式、

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

をmimeTeXサイトのURLの末尾に付加してアクセスすると、Webブラウザに以下の数式(画像)が表示されます。

これらmimeTeXの生成する数式は、他のサイトからも参照可能です。例えば、右上の図のような数式を含むWebCT上のクイズは、目的の数式を表すURLをアセスメントに埋め込むことで、作成できます。



詳しくは以下のページをご覧ください。
<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/local/mimetex.html>
 お問い合わせ、ご要望等はLT開発室まで

開講当初からWebCTを使えるようにするサービス

2007年度後期より、帝京大学宇都宮キャンパスにおいて、開講当初よりWebCTを使えるようにするサービスを開始しました。

これまで、必修の授業などで履修者が確定している場合を除き、開講当初からWebCTを活用できませんでした。Webによる履修登録システム導入後でも、学生の履修登録の完了は開講後2週間から3週間かかるためです。このサービスによって、授業に出席した学生は、履修登録を待たずとも最初からWebCTが利用できるようになりました。

このサービスは、次の2つから成ります。

- (1) 初回授業での出席確認とコースへの登録
 初回の授業で、学生証を用いて出席者の学籍番号を電子的に収集し(LTAが授業に伺い、お手伝いします)、そのデータをもとに、初回の授業の出席者をWebCTのコースへ登録します。
- (2) 履修者名簿とコース登録者の整合性確認
 教務システムでの履修者確定後に、履修者名簿とWebCTのコース登録者の整合性を確認し、履修者名簿の学生を全てコースに登録します。
 コースへの登録作業、履修者名簿との整合性確

認と修正は、理工学部教務チームとLT開発室とで行っています。

初回授業の出席確認で、出席者が多数と予想される場合には、磁気カードリーダーを2台用意するなどの対応もしました。また、独自の出席確認手段をお持ちの先生には、出席者リストを電子的にお送りいただき、そのデータをもとにコース登録を行いました。

2007年度後期の本サービス利用状況は、利用教員数16名(うち、14名が初回授業での出席確認を利用)、利用科目数 40科目でした。

来年度もぜひ、本サービスをご利用ください。

授業での悩みはございませんか?

LT開発室では、コース管理システムWebCTの活用から、授業の電子化、授業におけるIT活用、デジタル教材作成に関することまで、個別のご相談を随時受け付けています。詳しくは、LT開発室ウェブサイトの「LTコンサルテーション」をご覧ください。

編集後記 4周年を迎え、ニュースレターのリニューアルを行いました。これからも様々なニュースをお伝えしていきたいと思ひます。ついこの間リニューアルをしたと思ひていましたが、もう2年前のことなのですね。月日がたつのは早いんですね。8月より柳田京子さんを新スタッフとして迎えました。これからよろしくお願ひいたします。(及川)



ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 202室 028-627-7243 (直通)

◇一般的なお問合せ: LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート: LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇室員: 武井 恵雄(室長), 渡辺 博芳, 古川 文人, 高井 久美子, 及川 芳恵, 柳田 京子

